
GlobalFlow5 1.30R00

リリースノート

パナソニック ソリューションテクノロジー株式会社

2009年3月10日

製品情報

=====
バージョン : Ver. 1.30R00

=====
=== 変更内容 ===

=====
※GlobalDoc5のご利用が必須の変更内容には、項目本文の末尾に「※」を付加していま
す。

=====
機能拡張

■Web アプリケーション

- ・ テンプレート管理のDB連携情報編集画面「抽出実行SQL」をテキストエリアに変更し、複数行記載できるようになりました。
- ・ DB連携<_db_link_refer>で複数カラムを一度に取得し、複数のHTMLオブジェクトに対して設定できるようになりました。
- ・ DB連携<_db_link_list>で複数カラムを一度に取得し、複数のHTMLオブジェクトに対して設定できるようになりました。
- ・ DB連携<_db_link_refer>でデータ取得の間、処理中アイコンを表示するようになりました。
- ・ DB連携<_db_link_list>でデータ取得の間、処理中アイコンを表示するようになりました。
- ・ DB連携<_db_link_list>で表示されるデータ一覧画面の表示速度改善を行いました。
- ・ システムが自動で督促メールを送信する場合で、個人の期限切れは代理者にも送信するようになりました。

- ・ユーザーオプションの代理者の設定に、新たに有効期間を設定可能になりました。
- ・否認時に注釈必須のエラーが派生した場合に、注釈入力画面に推移して、そのまま注釈を入力できるようになりました。注釈入力後にそのまま注釈の「設定」を押下した場合に、否認の処理を継続して行うようになりました。
- ・書類がエラーで戻る際に送信される否認時承認依頼メールを、新たに「エラー時の承認依頼メール」として送信できるようになりました。メールの内容はリソースファイルを読み込み送信します。リソースファイルはテンプレート管理画面からは編集不可となります。
- ・<TEXTAREA>タグが設定されて、複数行の内容がある書類を印刷した場合でも、複数のページにまたがって印刷できるようになりました。
- ・書類の注釈入力で500文字まで入力可能になりました。
- ・書類一覧全ての書類名に“書類名：”を追加表示し、書類名の場所を特定しやすいようになりました。
- ・「保存文書/終了書類一覧」の検索項目に起案者を追加して、起案者での絞り込みが可能になりました。
- ・環境設定画面の各項目に必須項目“*”、複数のWebサーバーに影響する項目“+”のアイコンを付与しました。

■サーバーツール

- ・代理者の入出力ツールで、有効期間の項目を追加しました。

□仕様変更

■Webアプリケーション

- ・回付中/終了書類一覧の「現対応者」欄の表示形式を、「ユーザー名(現アクティビティ名)/(呼び戻し先アクティビティ名)」から「ユーザー名(現アクティビティ名)」に変更しました。
- ・回付先選択画面のウィンドウサイズを大きくしました。
- ・新規起案のテンプレート名一覧に、再起案の説明を表示するように変更しました。

- ・有効期限が切れたテンプレートを使用している起案前の書類を参照・削除できるようになりました。
- ・独自タグ<GFLOW-APPROVALACTIVITY>を使用している場合に、帳票から動的にアクティビティの宛先を設定する場合は、テンプレート、プロセスの宛先変更許可の設定を無視して処理するように変更しました。
- ・一括設定画面では、承認アクティビティの設定で“承認者の変更”を“許可する”に設定しているアクティビティは、全て編集可能となるようにチェックを変更しました。
- ・書類画面でセッションが無効になった場合、エラー画面に遷移していましたが、書類画面を表示するように変更しました。
- ・テンプレート管理の「利用できるテンプレート」の表示順を追加したテンプレートの順番で表示するように変更しました。再起案時に出てくるテンプレート一覧の表示順番も同様の順番で表示するように変更しました。新しい表示順で表示されるテンプレートは、対応後に登録、更新したテンプレートになります。
- ・管理者メッセージの表示画面サイズを、15 行程度表示できるように変更しました。
- ・「新規起案」のカテゴリ一覧、テンプレート一覧の表示速度改善をする為に、今まではテンプレートとプロセスのセキュリティをチェックしていたのを、テンプレートのチェックのみに変更し、テンプレート選択時にプロセスをチェックするように変更しました。
- ・テンプレート登録、更新時の速度改善をする為に、文法チェックを自動で行わないようにし、プロセスを選択後 [帳票との整合性チェック] ボタンを押下時にチェックを行うように変更しました。
- ・DB 連携、RDBMS 連携で SQL [0]が発生した場合には、出力メッセージを変更してログファイルに出力するように変更しました。

不具合修正

■Web アプリケーション

- ・自動承認処理されたアクティビティの「次の回付先」が未設定の場合、「承認者が存在しない場合の処理」が“エラーとする”に設定されていても、エラーにならない場合がある不具合を修正しました。

- ・フォルダ一覧画面、グループ一覧画面で、[再取得]ボタンを連続してクリックすると、一覧が正しく表示されない場合がある不具合を修正しました。※
- ・フォルダ一覧画面でフォルダ名の検索を行い、[再取得]ボタンをクリックし配下のフォルダを取得しても、配下のフォルダがあるのに「+」が表示されない不具合を修正しました。※
- ・フォルダ一覧画面でフォルダ名の検索を行い、配下のフォルダを取得すると、再度同じ条件で検索が実行される場合がある不具合を修正しました。※
- ・ブックマークに登録しているフォルダと同じフォルダ配下にあるフォルダをブックマークに登録していると、次を取得してもフォルダが表示されない場合がある不具合を修正しました。※
- ・添付ファイルの表示に ActiveX を利用しない環境で、起案時に添付ファイルを追加した場合、添付ファイルのリストが崩れて表示される不具合を修正しました。
- ・添付ファイルの表示に ActiveX を利用しない環境で、テンプレートをインポートした場合、インポート先のテンプレートに添付していたファイルが消える不具合を修正しました。
- ・書類のキーワード連携で、数値型キーワードが設定されている場合、値に小数点が含まれると“0”で登録される不具合を修正しました。※
- ・システム環境設定で、「バックグラウンド処理を行うか」が“行う”に設定されている場合、承認アクティビティと承認アクティビティの間に自動承認が含まれると、承認依頼通知メールの「依頼者」情報が空白になる不具合を修正しました。
- ・分岐アクティビティと結合アクティビティをまたがって書類を呼び戻した場合、通知メールが処理ユーザーに送信されない不具合を修正しました。
- ・書類停滞時に送信される督促メールの「依頼者名」が、現承認者の名前で表示される不具合を修正しました。
- ・書類メニュー、管理メニューのカテゴリ一覧をリフレッシュしたときに、メモリー使用量が増加し続ける不具合を修正しました。
- ・帳票簡易作成ツールで項目の「表示位置」が“標準”以外に設定されている場合、アーカイブ形式で保存された書類の本文で、コメントも「表示位置」の設定が影響して表示される不具合を修正しました。

- ・アーカイブ形式で保存された書類の履歴項目「本来の宛先ユーザー名」が、2行で表示される不具合を修正しました。
- ・システム管理メニューを開いて何も操作せずに[閉じる]ボタンをクリックしても、「編集集中の内容が破棄されてしまいますが、よろしいですか？」のメッセージが表示される不具合を修正しました。
- ・添付ファイルの表示に ActiveX を使用する環境で、添付ファイルのアップロードを一度中断したあとに再度アップロードすると、「添付ファイルが処理できる状態でないため、エラーとなりました。」のエラーメッセージが表示されて処理できない不具合を修正しました。
- ・使用言語を「日本語」以外に設定している場合、「CSV一括出力」画面からカレンダーを開くと、カレンダー画面が日本語で表示される不具合を修正しました。
- ・起案時、承認時の画面を開く時に処理される DB 連携でエラーが発生した場合、書類が崩れて表示される不具合を修正しました。
- ・Web サーバー起動時、またはシステム管理で設定を押下時に、データベースから情報を取得できなかった場合、プロパティファイルが初期化され、環境設定の一部がデフォルト値で動作する不具合を修正しました。
- ・書類がエラーで戻る際に、処理済みのアクティビティで「書類を完了するか」の設定が「完了にする」を選択されているアクティビティが無い場合、完了状態をクリアしていなかった不具合を修正しました。
- ・下書き保存された書類のテンプレート有効期間が切れた場合、書類に対して参照、削除できなかった不具合を修正しました。
- ・ActiveX を利用する環境で、再起案時の添付ファイルのアップロードに失敗する場合があります不具合を修正しました。
- ・テンプレート管理の DB 連携タブにある“帳票項目一覧”に項目が重複して表示される不具合を修正しました。
- ・上位者から設定をはずされたユーザーが、上位者として承認した書類に対して呼び戻しを行うと不要な履歴が残る不具合を修正しました。
- ・独自タグ<GFLOW-GROUP-LIST-SCOPE>を使用している場合に、CSV 出力の値として出力されない事がある不具合を修正しました。

- ・ 独自タグ<GFLOW-HISTORY>を使用している場合に、再起案時に起案元のテンプレート、プロセスと再起案先のテンプレート、プロセスが異なる場合に内容が表示されない不具合を修正しました。

- ・ ActiveX を利用しない環境で、添付ファイル名に“.”ピリオドが 2 つ以上ある場合に、添付ファイルがダウンロードできない場合がある不具合を修正しました。

■ サーバーツール

- ・ 書類が使用しているテンプレートの「保存日数」が“起案後”で日数指定されている場合、期限切れデータ削除ツールを実行したときに、保存期限が終了していても削除されない不具合を修正しました。

=====

※GlobalFlow5 Ver. 1.20R00 以前のバージョンをご利用の場合は、データベースのバージョンアップが必要です。

データベースのバージョンアップに関しては「GlobalFlow5 導入・設定マニュアル」の「5.4.2 データベースのバージョンアップ」を参照してください。